

2021 年度 研究職（技術研究調査官）採用試験【論文試験】

設問 1	原子力規制庁の研究職は、研究者であると同時に国家公務員である。国民全体の奉仕者である国家公務員として、かつ、原子力規制庁の研究職として、社会に対してどのように貢献していくことができるか、自身の考えを述べよ。
------	---

設問 2	<p>原子力規制委員会においては、科学的・技術的知見等の安全研究の成果が原子力規制等において確実に反映されるよう、規制活動におけるニーズ等を踏まえ、安全研究の成果及びその活用方策を明確化した上で安全研究プロジェクトを企画して研究を行っている。</p> <p>また、安全研究の的確な実施及び成果の活用を図るため、研究プロジェクトの開始・終了時等の節目において、評価（自己評価）を実施することとしている。研究プロジェクトの開始時においては事前評価を、終了時においては事後評価を行うこととしており、プロジェクト期間が長いものについては中間評価も行うこととしている。</p> <p>このように、計画的に研究を行うことに加えて事前・中間・事後評価を行うといった研究プロセスを回すことの意味合いと、評価を行うに当たっての大事な点は何か、自身の経験や知見を踏まえ考えを述べよ。</p>
------	---